

小金井ボランティアセンターについて

- 2020年度 小金井ボランティアセンター活動の概要、活動総括
（小西 克巳 小金井ボランティアセンター長）・・・・・・ 85
- 2020年度 小金井キャンパス ボランティア活動カレンダー（参考）・・・・・・86
- 2020年度 小金井ボランティア活動・研究公開サポート制度採択状況（参考）
・・・・・・87

小金井ボランティアセンターの活動の概要

小金井ボランティアセンター活動総括

小金井ボランティアセンター長 小西 克巳

小金井ボランティアセンターの2020年度の活動は、新型コロナウイルスの影響により、そのほとんどが中止、または、規模を縮小し参加者を限定して実施となった。昨年度と同様に、2回の学内献血、東小金井駅主催イベントへの出展、技術連盟による工学展、老人ホームでのクリスマスコンサートへの参加、地域農家の手伝いが予定されていたが、これらの全てが中止となった。小金井祭で実施された体験教室は、例年は中学生以上の地域住民の方々を対象としていたが、小金井際の参加者が学内関係者に限定されたため、対象を学内関係者に限定して実施することとなった。校内のゴミ拾いは、出勤したボランティアセンターの職員により実施された。

コロナ禍ではソーシャルディスタンスが重要となり、小金井キャンパスのみならず、市ヶ谷キャンパス、多摩キャンパスでも、その活動が制約された。このような状況は2021年度以降も続き、今回のパンデミックが収束後も同様な状況が再度訪れる可能性もある。今後は、このような状況においてボランティアセンターが何ができるか、どのように貢献できるかを考えていく必要がある。理系キャンパスという特徴を活かしたオンラインによる活動など、様々な貢献が考えられる。パンデミックにおけるボランティアセンターの活動をどのようにするかを学生自らが考えることで、ボランティアを通して学生の成長を促すというボランティアセンターの目的が達成されると思う。

このような学生によるボランティア活動をサポートする体制を整えておくことがボランティアセンターの役割である。小金井キャンパスでは、ボランティア活動に直接関わる専属学生が少ないという問題を抱えており、この問題についても解決していきたい。

2020年度 小金井キャンパス ボランティア活動カレンダー（参考）

小金井ボランティアセンターではまだ組織だったボランティアセンター活動が実施できていないため、例年、参考として小金井キャンパスのボランティア活動について報告している。

2020年度の小金井キャンパスのボランティア活動について、新型コロナウイルス感染症対応の関係で、学外からのボランティア行事の中止が相次ぎ、参加できなかった。また、小金井祭等の学内行事については、秋学期以降に参加者を学内関係者に限定して段階を踏んで実施した状況で、近隣地域への連携を主とする活動としての機能を全く果たせなかった（詳細は下表参照）。

イベント名等	内容	2019年度		2020年度の実施状況
		実施時期	ボランティア参加者数	
学内献血	日本赤十字社主催の学内献血に工体連が実施協力。	6月18日	5名	日本赤十字社からの申出により実施中止。
nonowa 東小金井「家族の夏祭り」参加	JR 東小金井駅主催イベントで、小金井企画実行委員会が理科体験教室のブース出展（対象：地域住民・子供）。	8月3日～5日	5名	nonowa 東小金井が開催を中止。
学内献血	日本赤十字社主催の学内献血に技術連盟が実施協力。	10月2日	8名	日本赤十字社からの申出により実施中止。
工学展	技術連盟が工学展で理科体験教室を出展（対象：地域住民・子供）。	11月1日～3日	42名	技術連盟が開催を中止。
小金井祭での体験教室企画	小金井企画実行委員会が理科体験教室を開催（対象：地域住民・子供）。	11月1日～3日	101名	小金井企画実行委員会が参加者を学内関係者に限定して開催。
小金井祭での研究室紹介	小金井3学部の6研究室の研究室見学を開催（対象：中学生以上の地域住民）。 ※参加研究室のうち申請した2研究室に対し「ボランティア活動・研究公開サポート制度助成」制度を適用。	11月2日～3日	101名	小金井企画実行委員会、小金井祭を参加者を学内関係者に限定して開催し、研究室紹介はポスター展示で出展。
老人ホームでのクリスマスコンサート参加	近隣老人ホーム主催クリスマス会に工学部マンドリンクラブが演奏参加。	12月中旬	32名	主催者が開催を中止。
農業サークル「あぐり」による地域農家の手伝い	農業サークル「あぐり」が年間を通じ地域農家の手伝いを実施。	4月～11月	60名	大学の指示で課外活動を自粛。
校内タバコ吸殻・ゴミ拾い	ボランティアセンター小金井職員が年間を通じて校内のタバコ吸殻・ゴミ拾いを実施。	4月～3月	1名	出勤したボランティアセンター職員が実施。

2021年度に向け、新型コロナウイルス感染症対応を万全にしながらの活動再開を検討したい。

以上

2020年度 小金井ボランティア活動・研究公開サポート制度採択状況(参考)

小金井キャンパスで実施しているボランティア活動・研究公開サポート制度の採択状況について、下記の通り報告する。

記

1. 小金井ボランティア活動・研究公開サポート制度について

本制度は、小金井キャンパスにおける地域貢献を目的としボランティア等の活動を活性化することを目的に、2016年度より新設された。

小金井キャンパス周辺地域（小金井市・西東京市・三鷹市・武蔵野市・国分寺市・調布市）を対象としたボランティア活動や小金井祭における地域住民への正課研究の公開を目的とする活動をする小金井キャンパスに在籍する学部生・院生及び登録団体に対し、1回の活動につき10万円を上限、一団体年間2回まで助成する。企画の実施期間について、申請年度中に活動を実施し、完了することが条件となる。

活動実施1か月前までに申請することが必要で、毎年度12月上旬を最終受付としている。

2. 2020年度の応募・採択状況

2020年度は2件の応募があり、全件採択された。

団体名	事業名	実施期間	助成額（円）
理工学部創生科学科 田中研究室	小金井祭研究室紹介 学際宇宙ゼミナールの研究室紹介・星野村プロジェクト	11月5・6・7日	100,000
生命科学部環境応用化学科 高井研究室	材料物性化学研究室紹介	11月5・6・7日	58,520
合計			158,520

以上